

G-SCAN

整備サポートセンターからの 整備技術情報



製品について詳しくは
g-scan.jp



整備サポートセンター

サポート費 ¥27,500^{税込}／年

月～金 10:00～17:00／土 10:00～15:00

(祝祭日、休業日は除く)

ブレーキフルード交換

■適応車種

プリウス(ZVW30)、プリウス α(ZVW40)、アクア(NHP10)等

以下に G-scan を使用した『ブレーキフルード交換』の方法を記載しますので、参考にしてください。

※注意※

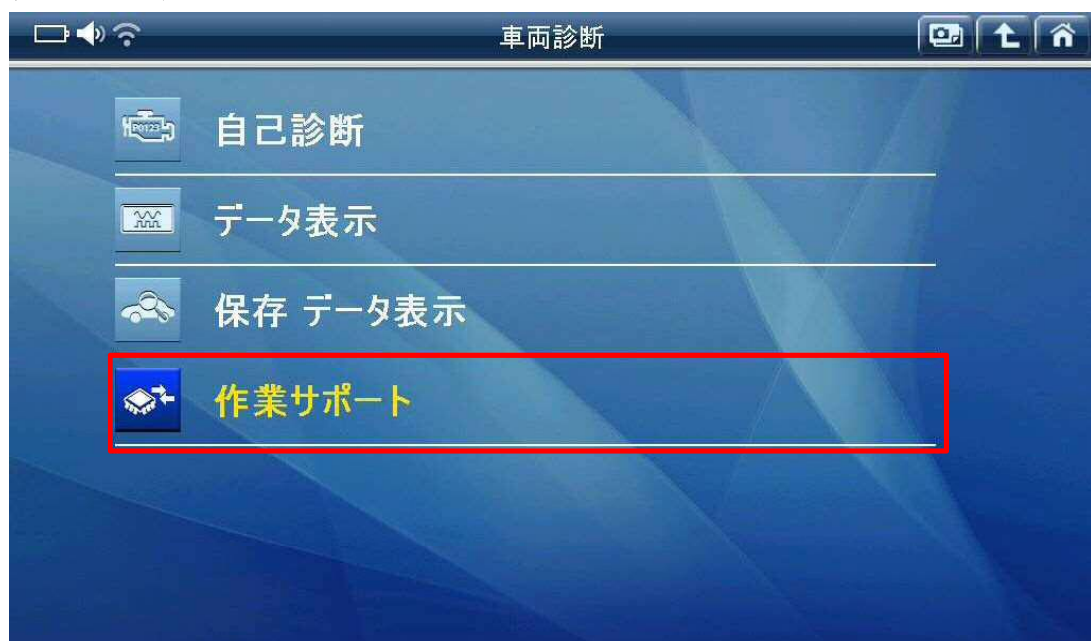
- ・ブレーキフルードの交換は車両停止状態、車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- ・エア抜きを行う際はシフトレバーPレンジでパーキングブレーキを効かせた状態で作業を行ってください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで行ってください。エアが完全に抜けていないと車両に悪影響を及ぼすだけでなく、ブレーキ回路に支障をきたし、正常なブレーキ操作ができなくなり、交通事故を引き起こす原因となります。
- ・交換中はリザーバタンク内のブレーキフルードが常にリザーバタンクを満たしている状態にしてください。

<参考>

車両の 12V バッテリー、及びハイブリッドバッテリーの容量が低下している場合は、手順 10～12 のときに失敗する場合があります。

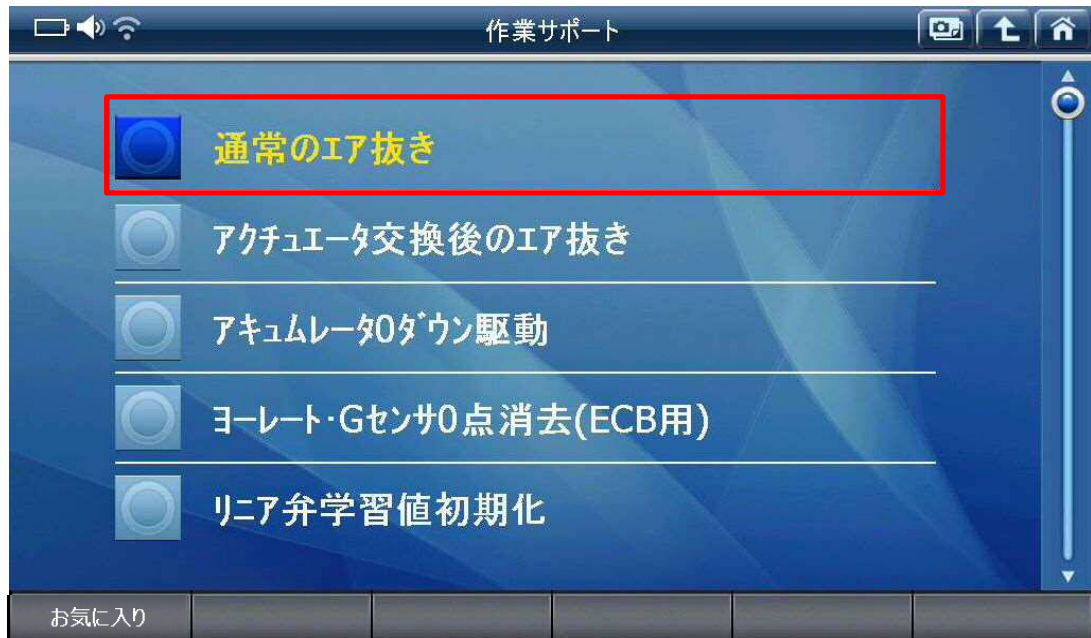
その際は、バッテリー状態を確認し必要であれば、エンジン始動して十分に充電してから再度お試しください。

1. IG SW OFF の状態で、G-scan を診断コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
2. IG SW ON の状態で、G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『ABS/VSC』又は『ABS/VSC/ARS』を選択してください。
3. 診断メニューにおいて、『作業サポート』項目を選択してください。エア抜き項目が表示されます。



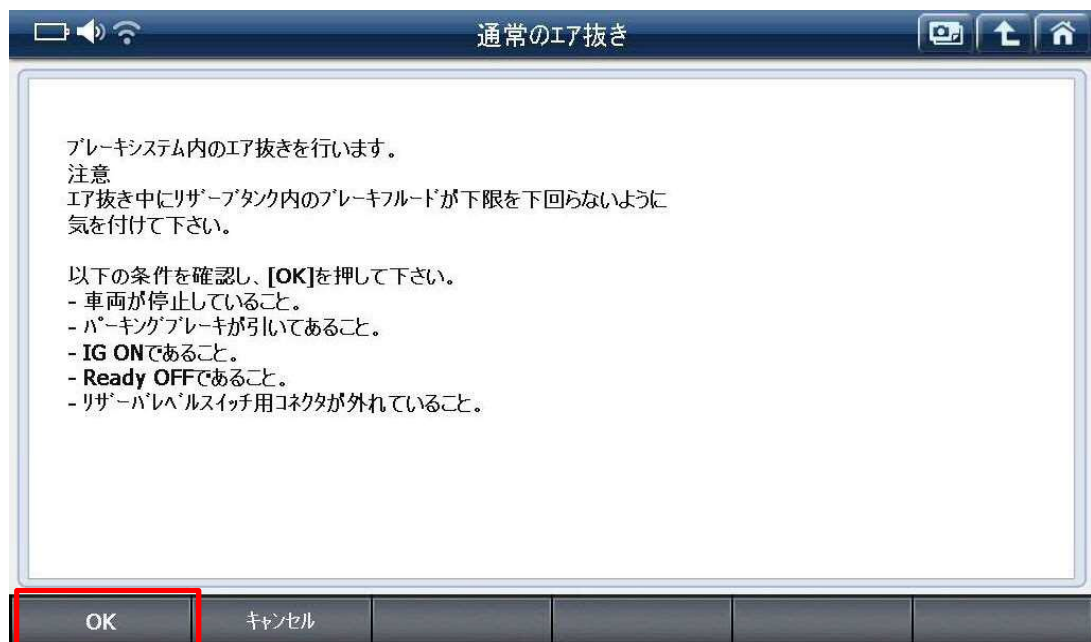
〈図：作業サポート選択画面〉

4. 『通常のエア抜き』を選択してください。



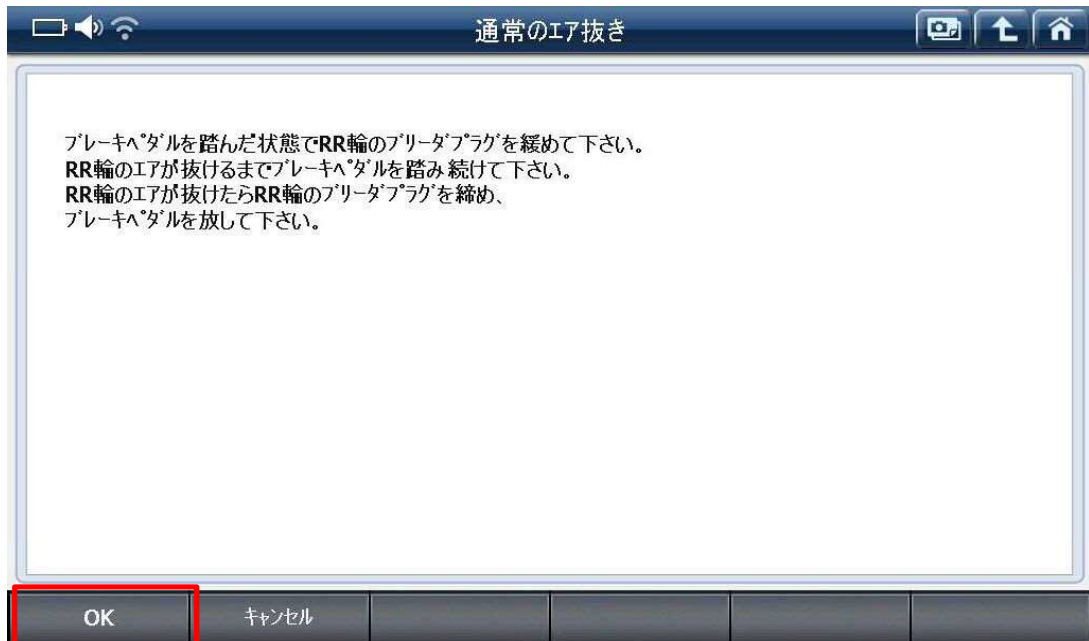
〈図: 通常のエア抜き選択画面〉

5. 注意事項及び条件内容を確認後、『OK』を選択してください。



〈図: 注意事項及び条件内容確認画面〉

6. リヤ右のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。完了後、『OK』を選択してください。

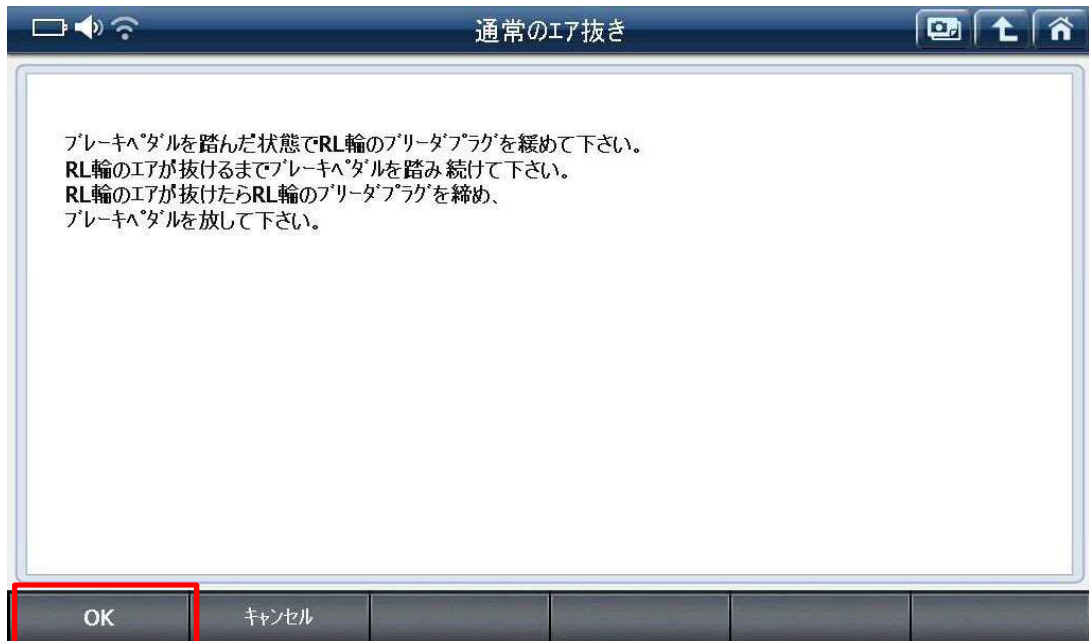


〈図: リア右エア抜き画面〉

※注意※

- ・ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびソレノイド駆動中にリア右のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。
- ・エア抜きはブレーキペダルをペダリングせず、踏み込んで保持した状態で行なってください。
- ・モータの連続駆動は最大 100 秒を目安にして、ペダルを離して停止してください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・フルード交換実施中にアキュムレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

7. リヤ左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。完了後、『OK』を選択してください。

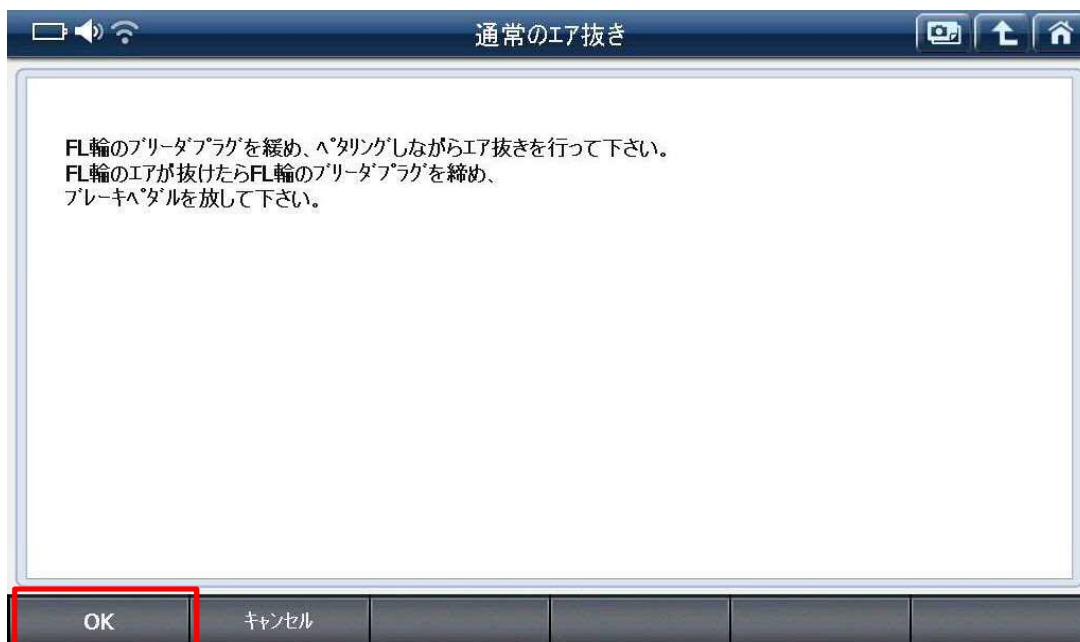


〈図: リア左エア抜き画面〉

※注意※

- ・ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびソレノイド駆動中にリア左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。
- ・エア抜きはブレーキペダルをペダリングせず、踏み込んで保持した状態で行なってください。
- ・モータの連続駆動は最大 100 秒を目安にして、ペダルを離して停止してください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・フルード交換実施中にアキュムレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

8. ブレーキペダルをペダリングし、フロント左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。完了後、『OK』を選択してください。

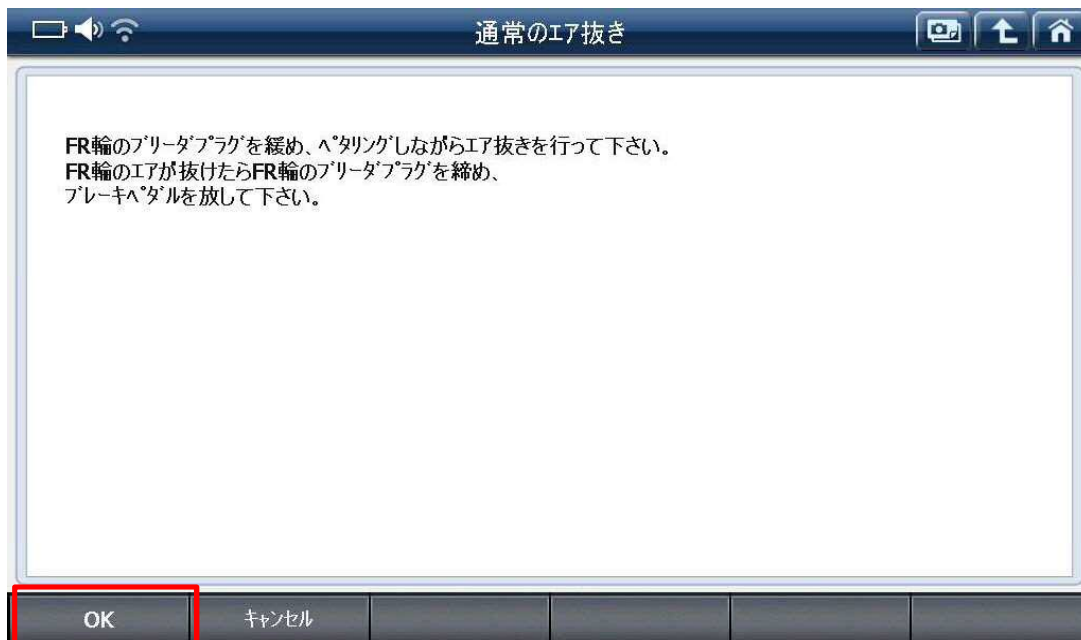


〈図: フロント左エア抜き画面〉

※注意※

- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・フルード交換実施中にアキュームレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

9. ブレーキペダルをペダリングし、フロント右のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。完了後、『OK』を選択してください。



〈図: フロント右エア抜き画面〉

※注意※

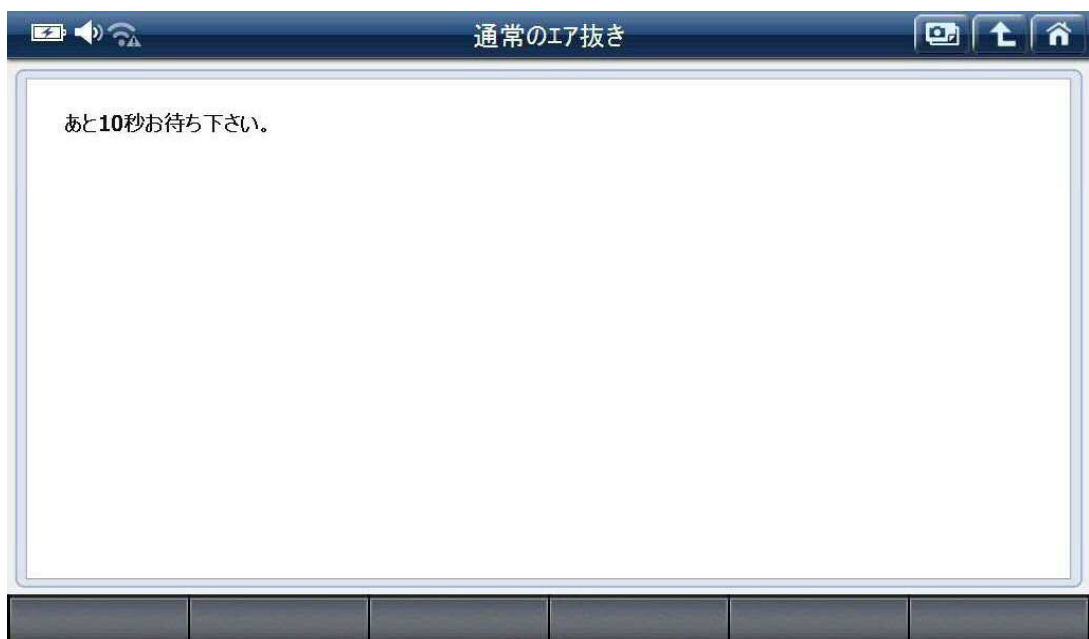
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・リザーバのフルード液面が MIN レベル以下にならないように補充してください。
- ・フルード交換実施中にアキュームレータ圧低下により、ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありませんのでそのまま作業を続けてください。

10. フルードの量を調整します。『OK』を選択してアキュームレータの圧力が下がるまでお待ち下さい。



〈図:アキュームレータ圧力低下実施画面〉

11. 操作画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。



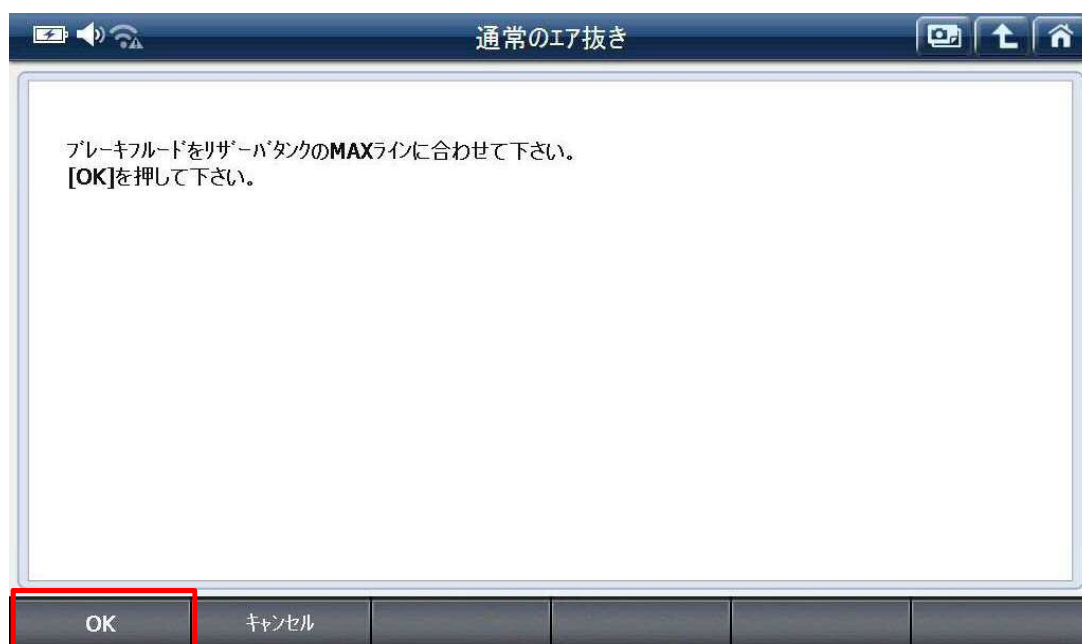
〈図:待機画面〉

12. ABS ポンプモータ作動音を確認し、『OK』を選択してください。
手順 10～12 までの作業を 6 回繰り返します。



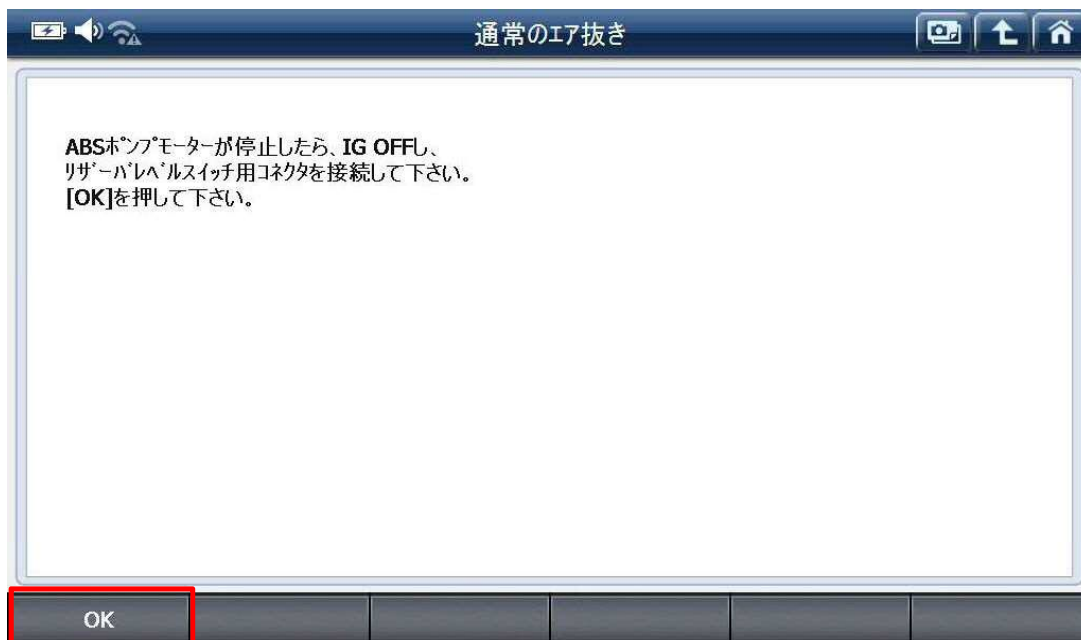
〈図: ABS ポンプモータ停止確認画面〉

13. ブレーキフルードを MAX レベルに合わせて、『OK』を選択してください。



〈図: ブレーキフルード量調整画面〉

14. 画面の指示に従って、リザーバレベルスイッチ用コネクタを接続して、『OK』を選択してください。（手順5で外した場合）



〈図: リザーバレベルスイッチ用コネクタ接続確認画面〉

15. エア抜き処理が完了したら、『OK』を選択してください。



〈図: エア抜き処理完了確認画面〉

- 16.** G-scan の診断メニューにおいて『自己診断』を選択して記憶された故障コードを消去してください。

[illegible]

〈図：故障コード消去確認画面〉

問い合わせ窓口

■ アフターサポート

ナビダイヤル **0570-064-737**

受付時間：月～金 10:00～17:00 ※祝日、休業日は除く

※IP電話・PHSからはご利用出来ません

音声ガイダンスに従って、ご希望の番号を押してください

- ① 整備サポートセンター
- ② 製品保守センター
- ③ アフターサービス更新のお申込み

株式会社インターサポート 〒310-0803 茨城県水戸市城南 1 丁目 6 番 39 号

Tel 029-303-8021（代）／ Fax 029-303-8022

<https://www.inter-support.co.jp/>

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法是改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。